

SonicWall、UTM Gen 8 製品群において 日本市場向け IPv6 IPoE 接続機能を強化

株式会社 JPIX「v6 プラス」固定 IP サービスに対応し国内 ISP 環境への適合性を向上

ソニックウォール・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、以下ソニックウォール）は、UTM（統合脅威管理）Gen 8 アプライアンス向けの最新ファームウェア「SonicOS 8.2.1」において、日本国内で普及が進む IPoE 接続環境への対応を強化したことを発表しました。

今回のアップデートでは、日本国内の ISP で広く採用されている株式会社 JPIX の「v6 プラス」固定 IP サービスに対応し、企業や拠点ネットワークにおいて、よりスムーズな IPv4/IPv6 インターネット接続の導入が可能となります。

近年、日本国内では通信品質の向上や混雑回避の観点から、従来の PPPoE 方式に代わり IPoE 方式の導入が急速に進んでおり、企業ネットワークやサービスプロバイダー環境においても、IPoE 対応は重要な要件となっています。

本アップデートにより、システムインテグレーターやサービスプロバイダーは、より柔軟かつ効率的に IPv4/IPv6 インターネット接続環境を構築できるようになります。また、中堅・中小規模市場において高まる低コストでのセキュリティ対策需要に対し、ソニックウォールはより幅広い選択肢を提供するとともに、国内パートナー企業およびサービスプロバイダーとの連携拡大を目指します。

【主な強化ポイント】

- ・ 株式会社 JPIX「v6 プラス」固定 IP サービスへの対応による、日本国内 ISP 環境への適合性向上
- ・ 中堅・中小規模市場に向けた IPv6 対応セキュリティ提案の強化
- ・ 国内システムインテグレーターとの協業拡大を支援

【 SonicWall について 】

[SonicWall](#) は 30 年以上の実績を誇るサイバーセキュリティの先駆者であり、パートナーを通じてビジネスを展開するトップ企業です。クラウド、ハイブリッド、従来型ネットワークが混在する環境にリアルタイムでセキュリティを構築、拡張、管理する SonicWall は、無数の攻撃ポイントにわたってシームレスな保護対策を提供し、リモート、モバイル、クラウド化の進むユーザーを巧妙なサイバー攻撃から守ります。独自の脅威研究センターを持つ SonicWall は、専用のセキュリティソリューションを短時間で経済的に提供し、企業、行政機関、中小企業など、世界中のあらゆる組織をサポートします。



詳細は、以下よりご確認ください。

コーポレートサイト：<https://www.sonicwall.com/ja-jp>

SonicWall Japan 情報サイト：<https://sonicwall-pub.snwl.jp>

X(Twitter)、LinkedIn、Facebook、Instagram で当社をフォローしてください。

X：<https://x.com/SonicWall>

LinkedIn：<https://www.linkedin.com/company/sonicwall/>

Facebook：<https://www.facebook.com/SonicWall/>

Instagram：https://www.instagram.com/sonicwall_inc/

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

ソニックウォール・ジャパン株式会社 PR 担当

Japan_SNL@sonicwall.com